

医学研究倫理指針に基づく情報公開

研究件名	びまん性肺疾患の検体を用いた探索的研究
利用目的・利用方法	疾患の組織および血液等に含まれる因子を分析することで、疾患の成因の理解を深め、医薬品開発へと応用する。具体的には、患者検体から得られる情報に、患者の臨床情報および各種病態モデルの解析データを組み合わせ、新規治療薬の開発を目的に創製された医薬品候補物質の臨床効果予測や、効果が期待できる患者の層別化方法の開発を行う。
利用する試料・情報	肺組織、血漿、検体に関する臨床情報
試料・情報の入手先	岡山大学病院バイオバンク
利用する者の範囲	杏林製薬株式会社
試料・情報の管理責任者	創薬本部 わたらせ創薬センター長 石山順一

研究件名	鼻咽頭ぬぐい液を用いた前処理の検討
利用目的・利用方法	先行研究にて採取した健常人の鼻咽頭ぬぐい液を用いて、PCR 検査前に行う検体簡易前処理の試薬として最適な試薬組成・濃度・方法等を検討する。
利用する試料・情報	鼻咽頭ぬぐい液
試料・情報の入手先	杏林製薬株式会社
利用する者の範囲	杏林製薬株式会社
試料・情報の管理責任者	診断事業部長 高橋 正人

研究件名	間質性肺炎患者の疾患関連情報を用いた研究
利用目的・利用方法	特発性肺線維症及び進行性線維化を伴う間質性肺疾患(PF-ILD)の発症病因と患者多様性に関連する要因や分子基盤を解明することで、疾患への理解を深めることを目的とする。官民研究開発投資拡大プログラムの枠組みに基づいた「新薬創出を加速する人工知能の開発」により神奈川県立循環器呼吸器病センターにおいて収集した間質性肺炎患者の疾患関連情報の提供を受け、杏林製薬株式会社及び国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所が協力して行う多機関共同研究である。
利用する試料・情報	患者背景、身体所見、臨床検査、マルチオミックスデータ、テロメア長等を中心に、患者背景や疾患の進行に係る情報
利用を開始する予定日	2024年6月
試料・情報の入手先	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
利用する者の範囲	杏林製薬株式会社、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
試料・情報の管理責任者	杏林製薬株式会社 創薬本部 石山順一、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 中村祐輔

2024年6月4日時点